



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-3537-7450
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	670	△13.2	16	—	19	—	12	841.2
24年9月期第1四半期	772	△2	△46	—	△44	—	1	△93.7

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 22百万円(—%) 24年9月期第1四半期 △0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	175.22	—
24年9月期第1四半期	18.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	3,143	2,350	74.7
24年9月期	3,108	2,348	75.6

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 2,347百万円 24年9月期 2,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	300.00	300.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,560	6.9	30	—	25	—	10	—	139.18
通期	3,250	15.6	300	—	290	—	210	—	2,922.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(注) 平成24年10月1日付で新たに株式会社ビーエス・ジェイを連結子会社化しました。なお、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	74,439株	24年9月期	74,439株
25年9月期1Q	2,592株	24年9月期	2,592株
25年9月期1Q	71,847株	24年9月期1Q	71,847株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成25年2月18日(月)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの事業は、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守運用を中心とする「証券ソリューション事業」、グループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ITソリューション事業」、ハナビラタケ関連製品の生産・販売を中心とする「フードサービス事業」及び「自己資金運用事業」です。

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）においては、日経平均株価が10,000円台を回復し、東京証券取引所における売買代金も平成24年10月から12月まで3ヶ月連続で前月実績を上回るなど、当社の主要顧客である証券業界の景気が回復する兆しが見えました。しかしながら証券各社の業績は回復途上にあるため、当社グループは引き続き顧客層の拡大を主要課題とし事業活動を行いました。

当第1四半期の当社連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成24年9月期 (前第1四半期)		平成25年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	772	100.0	670	100.0	86.8
営業利益又は 営業損失(△)	△46	—	16	2.4	—
四半期純利益	1	0.2	12	1.9	941.2

証券ソリューション事業が大きく売上を減少させる一方、平成24年9月期の年間売上高が16百万円であったITソリューション事業は株式会社ビーエス・ジェイ（以下、「BSJ」）子会社化の効果により、90百万円の売上を計上しました。事業立ち上げ段階のフードサービス事業は売上高6百万円、自己資金運用事業は運用損となったため売上高が計上されておられません。

グループ全体としては売上高を大きく減少させましたが、平成19年9月期に実行したM&Aに伴うのれん償却が平成24年3月にて終了したため、販売費及び一般管理費は前年同期から105百万円減少しました。

以上の要因から16百万円の連結営業利益を計上し、黒字転換となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでおりません。

(証券ソリューション事業)

証券ソリューション事業の業績は当社の業績であり、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守が主力事業であります。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 572百万円（前年同期比74.3%）

セグメント利益 124百万円（前年同期比163.6%）

なお、証券ソリューション事業の売上内訳及び受注実績は、次のとおりです。

<売上内訳>

	平成24年9月期 (前第1四半期)		平成25年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	140	18.2	26	4.6	18.8
システムインテグレーション売上	27	3.5	33	5.8	122.8
ライセンスビジネス売上	217	28.1	193	33.7	89.0
カスタマーサポート売上	387	50.2	319	55.9	82.5
合計	772	100.0	572	100.0	74.2

<受注実績>

	平成25年9月期 (当第1四半期)		当第1四半期末 受注残高
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	
パッケージ売上	32	56.5	105
システムインテグレーション売上	94	1,108.1	143
ライセンスビジネス売上	189	1,015.8	612
カスタマーサポート売上	50	55.8	826
合計	367	209.4	1,689

(注) 当第1四半期末受注残高=前期末受注残高+当第1四半期期受注実績-当第1四半期売上高

- ・パッケージ売上が前年同期と比較し大きく減少いたしました。主力製品『TIGER TradingSystem』のASP化が進展した影響で導入時の販売単価が大きく減少したことに加え、新規顧客獲得も1件にとどまり、単価と件数の両面がマイナスの要因となりました。
- ・安定収入であるランニング売上（ライセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上）も、証券会社のディーリング業務撤退の影響から減少しております。外国為替証拠金取引システムや取引所取引システム等の収入はほぼ前年同期並ですが、主力製品である『TIGER TradingSystem』のランニング売上が減少しました。
- ・受注実績は前年同期を上回ったものの低調に終わりました。パッケージ売上の受注実績が低調な要因は売上と同様です。また、カスタマーサポート売上の受注実績は、保守工数の少ない『TIGER TradingSystem』のASP化が進展したことにより減少しました。システムインテグレーション売上とライセンスビジネス売上については、前年同期の受注実績が非常に小さかったため、当第1四半期は大幅増となりました。
- ・費用面においては、引き続き、外注費及び保守料等の変動費の削減を行いました。
- ・前年同期に117百万円計上されたのれん償却が当第1四半期においては発生していないため、販売費及び一般管理費が減少し、セグメント利益が前年同期を上回る主要因となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業の業績は、当社ITソリューション事業部門と連結子会社であるBSJの業績であり、グループ経営管理ソリューションパッケージの開発及び保守を中心に、エンジニア派遣等も行っていきます。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	90百万円
セグメント利益	20百万円

平成24年10月に子会社化したBSJが業績に貢献しました。BSJはグループ経営管理ソリューションパッケージ『GROUP CATS』の開発及び保守を行う会社であり、エンドユーザは上場企業が中心です。当第1四半期より、当社ITソリューション事業本部とBSJが共同して『GROUP CATS』の展開に取り組んだ結果、既存顧客からの追加受注が集中したこともあり90百万円の売上を計上いたしました。

なお、ITソリューション事業の売上の大部分は受託開発に伴う売上であるため、四半期毎に大きく売上高が変動する可能性があります。

(フードサービス事業)

フードサービス事業は平成24年8月から開始した事業であり、当社連結子会社である株式会社らぼおぐが事業主体です。山梨工場で生産している機能性キノコ「ハナビラタケ」関連製品を販売していません。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	6百万円
セグメント損失	30百万円

当第1四半期においては、「ハナビラタケ」の生食販売とβ-グルカンを含むサプリメント「はなびらたけ粒」の販売を行いました。

生食は高価格帯のレストランを中心に販売活動を行い、毎月コンスタントに売上高を計上したものの、当第1四半期は製品認知度が市場に浸透する途上であり売上高は少額にとどまりました。

サプリメントは、一般消費者への直接販売及び卸売業者を通しての販売を行い、当第1四半期売上高の大部分を占めました。

費用面では、製品ラインナップの拡充に向けた研究開発費を13百万円投じました。

スタートアップ段階のため売上高が小さく、一方で積極的な研究開発を推進したため、30百万円のセグメント損失を計上しました。

(自己資金運用事業)

自己資金運用事業の業績は、当社連結子会社である株式会社トレーデクスの業績です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	—
セグメント損失	6百万円(前年同期はセグメント損失18百万円)

当第1四半期においては運用資金を抑えた一方、将来の証券ソリューション事業との相乗効果を狙い、運用手法と運用結果の相関の解析に重点を置きました。

当第1四半期においては若干の運用損失となり、6百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、3,143百万円となりました。当第1四半期中にBSJ（当第1四半期末総資産109百万円）を子会社化した影響で総資産は若干増加いたしました。

自己資本比率は74.7%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は423.9%であり、安定性の高い財務体質となっています。

（資産）

総資産合計3,143百万円のうち、現金及び預金と有価証券（MMF）の合計2,070百万円が65.9%を占め、高い手元資金比率を維持しています。その他は売掛金250百万円（構成比7.9%）、投資有価証券148百万円（構成比4.7%）等です。

（負債）

負債合計793百万円のうち、借入金（短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計）が521百万円を占めています。その他は買掛金80百万円等です。

（純資産）

純資産合計2,350百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金163百万円、自己株式△95百万円等となっています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成24年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりの進捗をしており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間において、平成24年10月1日付で新たに連結子会社となった株式会社ビーエス・ジェイを連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,408	1,419,145
売掛金	288,476	250,290
有価証券	651,053	651,146
商品及び製品	393	114
仕掛品	21,212	78,576
原材料及び貯蔵品	1,582	812
短期貸付金	50,000	—
繰延税金資産	81,200	81,200
その他	104,389	84,431
流動資産合計	2,563,715	2,565,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	139,096	137,013
減価償却累計額	△23,129	△25,457
建物及び構築物(純額)	115,967	111,555
機械装置及び運搬具	11,360	11,093
減価償却累計額	△371	△541
機械装置及び運搬具(純額)	10,988	10,551
工具、器具及び備品	409,743	401,118
減価償却累計額	△359,921	△357,511
工具、器具及び備品(純額)	49,821	43,606
リース資産	25,993	25,800
減価償却累計額	△7,640	△8,703
リース資産(純額)	18,352	17,096
有形固定資産合計	195,130	182,809
無形固定資産		
ソフトウェア	43,721	45,484
のれん	—	37,733
その他	364	364
無形固定資産合計	44,085	83,582
投資その他の資産		
投資有価証券	141,746	148,846
繰延税金資産	4,500	4,500
その他	174,970	173,969
貸倒引当金	△15,742	△15,742
投資その他の資産合計	305,474	311,573
固定資産合計	544,690	577,964
資産合計	3,108,405	3,143,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,646	80,381
短期借入金	150,000	164,000
1年内返済予定の長期借入金	152,280	169,080
未払法人税等	9,236	9,061
リース債務	5,158	4,119
賞与引当金	—	7,800
受注損失引当金	—	1,000
その他	77,086	112,029
流動負債合計	509,408	547,472
固定負債		
長期借入金	193,210	188,340
リース債務	14,586	14,245
長期割賦未払金	42,212	39,569
退職給付引当金	—	3,925
固定負債合計	250,008	246,080
負債合計	759,416	793,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,232	1,478,232
資本剰余金	794,065	794,065
利益剰余金	172,823	163,858
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	2,350,089	2,341,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,100	6,000
その他の包括利益累計額合計	△1,100	6,000
少数株主持分	—	3,004
純資産合計	2,348,989	2,350,128
負債純資産合計	3,108,405	3,143,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	772,281	670,012
売上原価	494,170	434,615
売上総利益	278,111	235,396
販売費及び一般管理費合計	324,737	219,280
営業利益又は営業損失(△)	△46,625	16,115
営業外収益		
受取利息	501	517
受取配当金	200	200
受取手数料	774	3,979
持分法による投資利益	4,372	—
その他	412	518
営業外収益合計	6,260	5,214
営業外費用		
支払利息	4,457	2,272
その他	—	0
営業外費用合計	4,457	2,272
経常利益又は経常損失(△)	△44,822	19,058
特別利益		
解約違約金	47,450	—
特別利益合計	47,450	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	832
事務所移転費用	572	—
特別損失合計	572	832
税金等調整前四半期純利益	2,054	18,226
法人税、住民税及び事業税	717	2,632
法人税等合計	717	2,632
少数株主損益調整前四半期純利益	1,337	15,593
少数株主利益	—	3,004
四半期純利益	1,337	12,588

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,337	15,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,600	7,100
持分法適用会社に対する持分相当額	150	—
その他の包括利益合計	△1,449	7,100
四半期包括利益	△112	22,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	19,688
少数株主に係る四半期包括利益	—	3,004

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	証券ソリ ューショ ン事業	投資顧問 事業	自己資金 運用事業 (注) 1	計				
売上高								
外部顧客への売上高	770,836	1,445	—	772,281	—	772,281	—	772,281
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,200	10,781	—	11,981	—	11,981	△11,981	—
計	772,036	12,226	—	784,263	—	784,263	△11,981	772,281
セグメント利益又は損 失(△)	75,892	△12,305	△18,315	45,271	△10,047	35,223	△81,849	△46,625

(注) 1. 「自己資金運用事業」の区分は、第1四半期累計期間より連結子会社となった株式会社トレーダクスにおいて行っている事業であり、第1四半期累計期間より当該セグメントを新設しております。

2. 「その他」の区分は、主に新規事業開発に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失の調整額△81,849千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	証券ソリ ューショ ン事 業	ITソリ ューショ ン事 業 (注) 1	フードサ ービス 事業 (注) 2	自己資金 運用 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	572,360	90,788	6,863	—	670,012	—	670,012
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	11,750	45	—	11,795	△11,795	—
計	572,360	102,538	6,908	—	681,807	△11,795	670,012
セグメント利益又は損 失(△)	124,145	20,695	△30,207	△6,598	108,034	△91,918	16,115

(注) 1. 「ITソリューション事業」の区分は、当社ITソリューション事業本部及び当第1四半期連結累計期間より連結子会社となった株式会社ビーエス・ジェイにおいて行っている事業です。

2. 「フードサービス事業」の区分は、連結子会社である株式会社らぼおぐにおいて行っている事業です。

3. セグメント利益又は損失の調整額△91,918千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。